

「令和3年度お試しサテライトオフィス運營業務委託」企画コンペティション質疑に対する回答

No	質疑内容	回答
1	令和2年度に実施された同業務の利用実績を開示可能であればご教示ください。	令和2年度は、11月4日に受入れを開始し、3月10日現在、約50社から参加の問い合わせがあり、延べ36社が利用する見込みです。このうち9社が本市滞在を終了、10社が滞在中、17社が今後3月末までに滞在を予定しています。
2	令和2年度の実績を教えてください。 ① 参加社数、参加人数 ② 実施期間 ③ コーディネーターの経歴 ④ マッチングイベントの内容 ⑤ ワークেশヨンプランの内容 ⑥ PR 広報・パブリシティの実績 ⑦ 参加者への調査・アンケート結果 など	①延べ36社、92人が利用する見込み(3月10日時点)です。 ②令和2年11月4日受入開始～令和3年3月末日まで実施予定です。 ③令和2年度は特定のマッチングコーディネーターを配置せず、受託者で対応していただいています。 ④新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言の発令に伴い、イベントは開催しておりません。 ⑤観光、名物、グルメ、自然などを紹介し、働く場所(コワーキングスペース等)と宿泊先を例示したプランを提案していただいております。 ⑥受託者にて、首都圏企業向けに本市の魅力をPRするための資料などを送付するなどして本事業をPRし、新たな企業との接点づくりを行っております。 ⑦参加者には参加前に北九州市での参加時の企業ニーズを掘り起こすため、Web会議等によるヒアリングに加えて、アンケート調査を行っております。また参加後にもアンケートを実施しております。現在、事業実施のため期間終了時までにとりまとめる予定です。
3	業務委託仕様書8-(1)-キ 参加企業発掘に向けたプロモーション“首都圏等から地方移転を検討する企業(主にIT系企業、オフィス系企業)”の部分の「オフィス系企業」の定義をご教示ください。	オフィス系企業とは主に事務、研究開発を想定しています。 (例) 経営管理、経営企画業務等のミドルオフィス業務、 コンタクトセンター、シェアードサービスセンター、BPOサービス等のバックオフィス業務、 研究・設計開発業務等の高度専門業務

4	<p>令和2年度の取り組みに関する評価点や改善点がございましたら教えてください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度は、参加企業が地元企業や学校とのマッチングを確実に、熱意をもって取り組むことで企業進出につながるよう、具体的にマッチングコーディネーターを配置するよう変更しております。 ・令和2年度は、運営事務局と参加者への参加費の支払業務を一括して委託していましたが、令和3年度は運営部分に注力していただくために、参加者への支払業務については運營業務受託者と別途委託契約を締結するように変更しております。 ・参加企業が地元企業などとのマッチングを行った先では、参加企業が北九州市に進出することを狙っていますので、そのような趣旨のご提案をして下さい。
---	--	---